

プレリリース!

2019年度 なは市民活動支援センター

支援ブース・事務室の入居団体を募集します!

★2019年4月入居分の支援ブース・事務室の入居団体を募集します。

★募集の詳細が決まりましたら、「なは市民活動支援センター」のホームページでお知らせします。

<http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/matidukuri/nahashiminkatudosien/>



→

ココです



支援ブース

【募集】12ブース（予定）

【広さ】約2㎡

【付属設備】

事務机(1)

イス(1)

ロッカー(1)

【金額】

月額1,500円

【利用期限】

最長3年

※1年毎に更新が必要



事務室

【募集】3室（予定）

【広さ】約15㎡

【付属設備】

事務机(1)

イス(1)

保管庫(1)

【金額】

月額12,000円

【利用期限】

最長3年

※1年毎に更新が必要



受講生たちの
集大成！！

なは市民協働大学院 成果発表会

【日時】12/8 (土) 9:30~12:00

【場所】なは市民協働プラザ 2階 会議室①

なは市民協働大学院の成果発表会を当センターで行います！曙小学校区まちづくり協議会等に対し、防災・高齢者福祉・こどもの居場所・公園活などのアクションプランを班毎に提案します。

どなたもご参加いただけますので、お気軽に足をお運びください！



昨年度の発表会の様子と受講生の皆さん



スタートアップ講座(全4回)終了しました！

9月から開始した全4回の講座が終了しました。

「NPO・市民活動の現場を体験！！」をテーマに、NPOについて知り、現場で体験し、自身のやりたい事を企画する、実践的なプログラムでした。

最終回では、「フードバンクセカンドハーベスト沖縄」や「首里まちづくり研究会」での現場体験を活かし、実際に自分が取り組みたい企画をつくり、またはブラッシュアップして、支援者を得るべくプレゼンを行いました。

まとめとして、社会の課題をほっとけない、と最初のアクションを踏み出した個人が、活動の支援を募り仲間を増やしていくことが大事であること、また、限りある資源（モノ、金、人材など）を効果的に使うには、やりたいことを「絞る」ことが必要であること、などを学びました。



** センターからのお知らせ **

【年末年始休館のお知らせ】

※12月28日(金)は12:00閉館

2018年12月29日(土)~2019年1月3日(木)

上記の期間、なは市民活動支援センターは休館いたします。印刷機・情報スペース・交流スペース等の利用はできません。支援ブースや事務室に入ることもできません。1月4日(金)から、通常通り開館します。

【Facebook 始めました】

11月から、なは市民活動支援センターのFacebookを始めました。

当センターからのお知らせはもちろんのこと、なはを中心にした市民活動やまちづくりに関する事柄を発信していきます！

次回のFUN日カフェは・・・

12/14(金)です！

ボランティア募集について

あなたもやってみませんか
できる時に できる事を できる人が お気軽にどうぞ

なは市民活動支援センターでは、「人材データバンクモデル事業」を実施し、多くの市民の皆様にボランティアの登録をお願いしながら、同時にボランティアを必要とする団体の声を拾い上げ、マッチングを図る取組みをしています。

何か指導ができるとか、教えられる特技があるというようなことがなくても、一緒になって地域活動や団体の活動をサポートしたり、手伝いができますよということでも大いにすばらしいことだと思います。

まちづくり協働推進課では、「なは市民活動支援センターのホームページ」にボランティア情報やボランティア登録の様式などを掲載しております。今後もボランティア登録をいただける方を増やしていきながら、あわせて様々なボランティアを求める声を掲載していきますので、ぜひご覧ください。

ボランティアのことなら、なは市民活動支援センターまで。

TEL : 098-861-5024 FAX : 098-861-5029

助成金情報

沖縄県労働金庫 2018年度「ろうきん・わしたシマづくり運動基金」

応募期間：2018年12月1日～2019年1月31日（郵送は当日消印有効）

- 応募資格：(1)沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等に関わる活動に取り組む非営利団体等
(2)宗教活動、政治活動を目的としない団体であること
(3)沖縄県労働金庫に寄付金受取講座として応募団体名義の普通預金口座を開設しているか、もしくは今後に開設できること

寄付額：総額約100万円を複数団体へ寄付します。数年間にわたり継続的に寄付することを基本とし、選考委員会において各団体への寄付額および寄付期間を決定します。

問い合わせ先：沖縄県労働金庫 経営統括部

【TEL】098-861-1196（直通） 【e-mail】keiei_toukatsu@okinawa-rokin.or.jp

平成30年度 一般社団法人コザしん地域振興基金助成事業

応募期間：2018年10月1日～2019年1月4日〔事務局必着〕

※近くの当金庫営業店経由で申請願います。

注意事項：対象となる事業及び助成対象とならない事業があります。また、申請者の資格要件がありますので、詳細は当財団の助成応募要項でご確認ください。

「助成応募要項」「申請書類等」は、コザ信用金庫のホームページからダウンロードできます。【<http://www.kozashinkin.co.jp>】

問い合わせ先：一般財団法人 コザしん地域振興基金 事務局（担当：與儀正哲、金良るみ子）

【TEL】098-933-1137 【FAX】098-982-2200

市民活動のヒントに！今月の本

組織の活性化に役立つ！

『世界最高のチーム』

＝グーグル流「最少の人数」で「最大の成果」を生み出す方法＝
 ピョートル・フェリクス・グジバチ(2011年～2014年グーグルアジア・パシフィック地域人材開発担当) 著
 朝日新聞出版



Googleの世界共通のチーム作りのルールが開示されています。生産性の高いチームの特性として①チームの「心理的安全性」が高いこと ②チームに対する信頼性が高いこと ③チームの「構造」が「明瞭」であること ④チームの仕事に「意味」を見出していること ⑤チームの仕事が社会に対して「影響」をもたらすと考えていること。中でも①の「心理的安全性」が最も重要で、一人一人が安心してなんでも言い合えるチームが生産性が高いとのこと。他のチームとの接点を増やせば「思いがけない発見」も増えるという話や、感謝の気持ちがチームの生産性を上げてくれる。はっきりした「チームのゴール」があるから仕組みが生まれるという話、常に「そのエビデンス(科学的根拠)は？」と問いかける組織カルチャーもGoogleらしいですね。

また、チームマネージャーの言動がチームのパフォーマンスに最も関係しており、会社のチームはスポーツチームに似ているとのこと。その他「最少の人数」で「最大の成果」を生み出す方法や劇的に生産性をあげる仕組みの作り方などが書かれています。

ちなみに、日本のある大手広告代理店がパフォーマンスを出しているチームと、出していないチームを調べたところ、パフォーマンスが低いのは、仕事の話ばかりして、雑談をしないチームで、パフォーマンスを出しているチームは雑談ばかりしているチームだったという話はおもしろかったです。

チームのパフォーマンスを向上させる「良質な会話」が組織には必要ということかもしれません。

By YM



なは市民活動支援センター 検索

会議室の料金

会議室①(84人)	1300円/1時間	★舞台アリ
会議室②(36人)	650円/1時間	
会議室③(45人)	650円/1時間	
会議室④～⑦(12～18人)	200円/1時間	
会議室⑧(24人)	250円/1時間	
研修室①(16人)	200円/1時間	★和室
研修室②(17人)	200円/1時間	

市民活動等にぜひお役立てください(^o^)

たくさんのご利用、お待ちしております！

■印刷料金 ■ ※印刷用紙はご持参ください。

お問い合わせ なは市民活動支援センター

〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ2階

TEL : 098-861-5024 / FAX : 098-861-5029

メール : C-KATU005@city.naha.lg.jp

	サイズ	金額
モノクロ	A3以内	1枚1円
カラー	A3以内	1枚4円

※平成29年4月料金改定